

# 個人のラーメンの評価モデルの推定による 好みのラーメンが特定できるサイト

手塚 雄大 ([21211232yt@tama.ac.jp](mailto:21211232yt@tama.ac.jp))

## 1. 目的と背景

本研究の目的は、好みのラーメンに近いラーメンを簡単に見つけられるシステムを提案することである。

## 2. 手法

まず、自分のラーメンの好みを説明する線形モデルを作製する。様々なラーメンについて、味付けやスープのベース、具材、麺の種類、立地、値段、替え玉の有無などの要素の評価と、全体評価を行い、全体評価を要素の値から推定する。

次に、未知のラーメンについて、各要素を別の人に評価してもらう。そのラーメンを自分で食べて、全体評価を行う。この全体評価と、線形モデルから予測される全体評価を比較し、モデルの妥当性を検証した。

処理には、統計処理ソフト「R Studio」を使用した。

## 3. 結果

Rの `lm / update` コマンドを用いて、自分のラーメン評価線型モデルを作成した。評価軸要素数は24であり、分析の結果2つ、または、3つの要素が抽出された。結果を以下に示す。

パターン1

$$\text{全体評価} = 1.49 + 0.21[\text{鶏がらベース}] + 0.40[\text{もやし}] + 0.71[\text{立地}]$$

パターン2

$$\text{全体評価} = 1.52 + 0.22[\text{鶏がらベース}] + 0.85[\text{立地}]$$

この結果からは、全体評価は駅からお店までの「立地」が遠いほど高くなると示された。しかし、私は、本来近い立地の場所を好んでいる。そのためラーメン評価モデルとして不十分な結果に至った。

## 4. 発展

評価軸から矛盾した「立地」を取り除き新たに評価軸要素を増やし調整を行うことで評価モデルの精度を上げることを考えている。

今後は評価モデルを用いたサイトの完成を目指し、一般の多くのユーザが好みのラーメンが特定できるサイトを作成する。